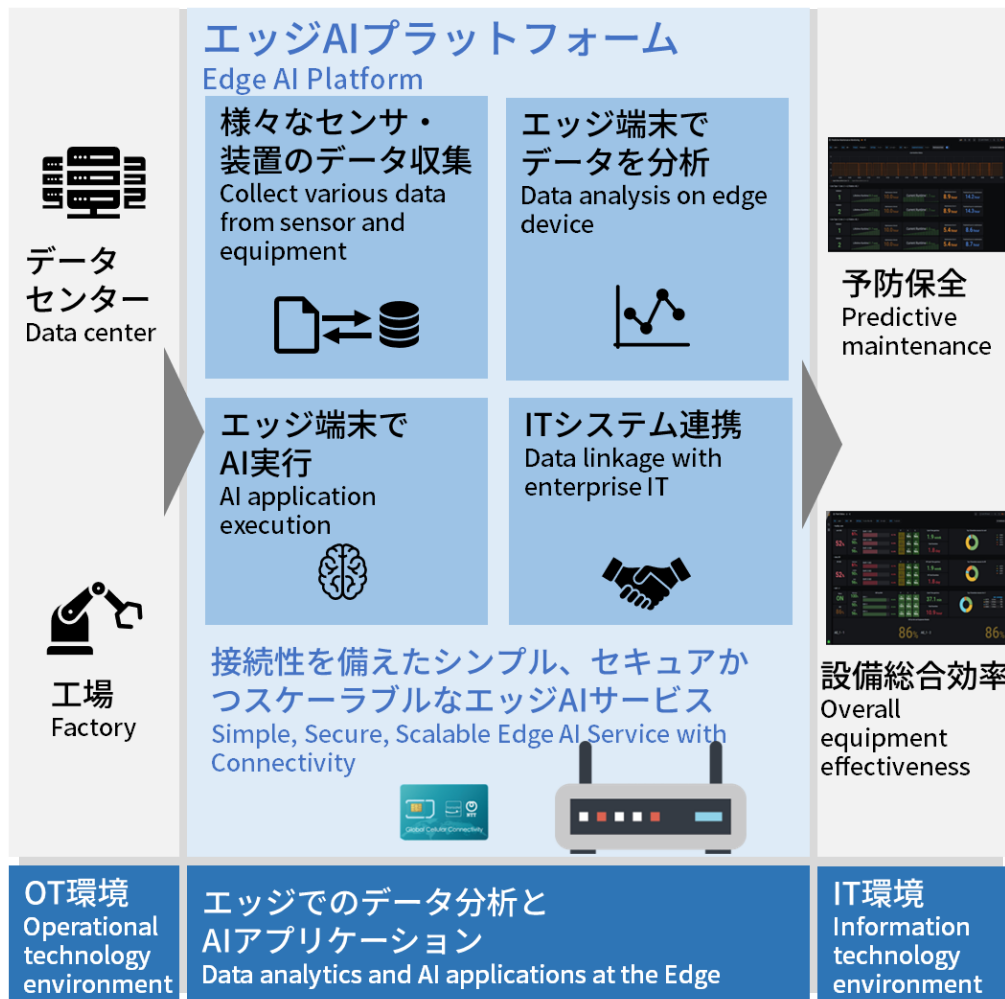


エッジAIを実現するEdge as a Service グローバルでの大規模なエッジAIやエッジコンピューティング 導入を容易・低コストに実現します

#業務効率化 #顧客体験価値向上



///技術課題

エッジAIやエッジコンピューティングのグローバル展開には、回線手配の煩雑さや、構築・サポート体制の不備が導入障壁となります。

///研究目標

端末の運用保守・管理業務を効率化し、大規模なエッジAIやエッジコンピューティングを容易に導入可能とします。

---要素技術

グローバルで4G/5G接続性を有するエッジ端末により、端末からアプリケーションまでをリモートで運用管理可能なマネージド・サービスとして提供

---市中技術差異点

これまで必要とされていた高度な技術者が現地にいなくても、カタログ化されたさまざまなAIアプリケーションをエッジ端末へ配信し、容易にAIの導入が可能

---適用ビジネス

製造業において、工場機器からのセンサ情報収集、機器の稼働状況の可視化、収集データを元に予兆保全などOT領域のユースケースに活用可能（サービス提供中）